

久世中学校ブロックの小中一貫教育

「自己有用感を高める」ために軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力								
「自己有用感を高める」ために軸となる取組・活動								
学年または学年区分ごとにめざす姿								
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動 学校たんけん なかよしいっぱい大作戦 もうすぐ2年生 交通安全教室	学校たんけん (1年ピア・サポート) まちたんけん ひろがれわたし	地域たんけん 六斎太鼓や注連 縄づくり等の体 験活動	福祉交流 みさきの家合同 宿泊学習 ものづくり体験	縦割り活動（副 リーダー） 就学時検診 (年長児へのピ ア・サポート) エコライフチャ レンジ 環境学習 合同長期宿泊学 習	縦割り活動（リ ーダー） 1年生とのピ ア・サポート活 動 中学校合唱コン クール参加	ふれあいひろば ふれあいトーク サマースクール ボランティア	生き方探究・チ ヤレンジ体験 サマースクール ボランティア	ふれあいタイム サマースクール ボランティア
＜中学校ブロックとしての取組＞ ピア・サポートや縦割り活動など異学年との交流を通して、集団を支えようとするフォロワーシップの心を育てる。保護者や地域の人々など様々な人との関わりとその関わりを通した評価によって、自尊感情や自己有用感を育てる。	久世の町や伝統について調べたり、障害のある人と交流したりすることで、自分にできることを見つけて、他人の役に立とうとする意欲を持たせる。 ピア・サポートや縦割り活動など異学年との交流では、世話される側から世話する側へと推移する時期である。発達段階に応じた役割を果たせたことを認めることで、仲間意識を持たせる。	クループのリーダーとして縦割り活動を進めたり、ピア・サポートで下級生のお手伝い活動を計画実践したりすることで、自己有用感を育む。 先生や下級生からの評価で、自分自身のよいところや自分が役に立っていることを実感させる。	地域の保育園の園児や小学校の児童との交流活動を主体的に計画、実践することで自己有用感を育む。 職業体験や地域の方との関わりを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現しようとする態度を育てる。 自発的自動的な活動を評価されることで、自分自身の持ち味や自分が必要とされていることを実感させる。					

学びの約束・ルール

項目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
コミュニケーション	○人の話を最後まで聞く。 ○単語ではなく文で話す。	○語彙を増やして自分の思いや 考えを相手に伝える。	○丁寧な言葉遣いや正しい敬語を 身に付ける。	○社会に通じる言葉遣いを身に付ける。					
あいさつ	○自分から元気よくあいさつを する。	○場に応じたあいさつをする。 ○正しいあいさつや返事の仕方 を理解する。	○相手を意識したあいさつをする。 ○自ら進んであいさつをし、下級生 のよい見本となる。	○その場の状況や相手の状態を考えてあいさつをする					